

## 石川県コンクリート診断士会 活動レポート(2017年10月～2018年3月)

### ◆ (報告) 現場見学会

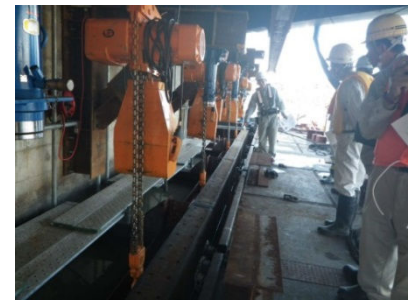
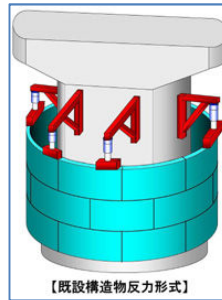
「市道向本折飛行場線 向本折大橋 耐震補強工事」

施 工：オリエンタル白石・横山建設工事共同企業体

開催日：平成29年10月17日(火) 13:30～15:30

場 所：小松市向本折町 地内

参加者：18名



鋼製パネル及び概要図 (STEP 工法カタログより抜粋)

現場見学会の様子

今回の現場は、アルカリ骨材反応により経年劣化した既設橋脚の表面をはつり取り、コンクリート巻立てにより耐震補強を行うといった工事内容で、構造物本体ではなく橋脚周囲を締切るための特殊な仮設工法であるSTEP工法にスポットを当てた見学会でした。本工法は分割された締切り鋼板(鋼製パネル)を橋脚の周りに組み立て、圧入ジャッキにより必要な深度まで圧入することにより作業エリアを締切る工法です。

見学では作業台船上より、実際のジャッキ及び鋼製パネルを見ることができました。また、桁下空間等の制約条件が少なく、複数基の橋脚に鋼製パネルを転用することにより経済的なメリットがあることなどの具体的な説明をいただき知識を深めることができました。

オリエンタル白石(株)ならびに横山建設(株)の皆様には見学の案内、工事概要説明をしていただき大変お世話になりました。

### ◆ (報告) コンクリート構造物の維持管理研修(講師派遣)

主催：石川県土木部監理課技術管理室、(公財)いしかわまちづくり技術センター

会場 金沢会場：平成29年12月12日(火) 県庁会議室

能登会場：平成29年12月15日(金) 奥能登行政センター4F 会議室

研修内容(今年のテーマ「ASR」)

「アルカリ骨材反応のメカニズムと材料及び施工における留意点」有馬 直秀 氏/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

「アルカリ骨材反応で劣化した構造物の点検と調査試験及び診断」野村 昌弘 氏/株野村昌弘の研究所

「アルカリ骨材反応で劣化した構造物の補修及び維持管理」麻田 正弘 氏/アルスコンサルタンツ(株)



金沢会場



能登会場

(参加者：県8,市町7,施工会社11,設計会社12,調査会社8)

(参加者：県7,市町1,施工会社13)

講師の皆様には大変お忙しい中、講演を快諾されたことを感謝し、改めて御礼申し上げます。

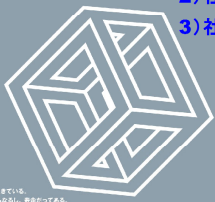
◆（報告）意見交換会「これからの診断士会は何を目指していくべきか」

平成30年3月5日（月）11:00～12:00（金沢勤労者プラザ1階102研修室）

石川県診断士会は、平成18年6月の発足依頼、会員の技術力向上等を目的に活動してきました。しかし、会の発足当時と比べて社会情勢は大きく変化しており、コンクリート診断士会の在り方が重要になってきています。また4月には、フォーラム「これからの維持管理を担う人材をいかに育成するか」を開催いたします。そこで表題について、会員による意見交換会を行い、その内容を以下にまとめました。

石川県コンクリート診断士会（目的）

- 1) 診断技術と資質の向上
- 2) 社会的評価と地位の向上
- 3) 社会貢献



石川県コンクリート診断士会は、その会章に導かれます。

1.石川県コンクリート診断士会の活動内容

目的1: 診断技術の向上

- ①講演会、技術セミナー
- ②現場見学会
- ③会員による診断事例発表会

→主に会員向け

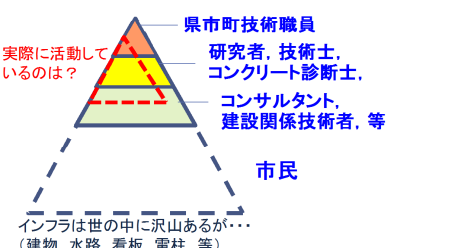
目的2: 社会的評価と地位の向上

- ④県主催コンクリート研修への講師派遣  
→県市町職員、建設会社、コンサルの技術者向け

目的3: 社会貢献

- ⑤コンクリート体験会 →市民、子ども向け

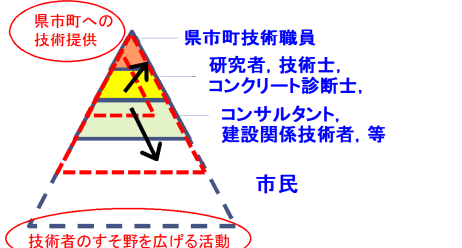
2.インフラの維持管理に携わる人達



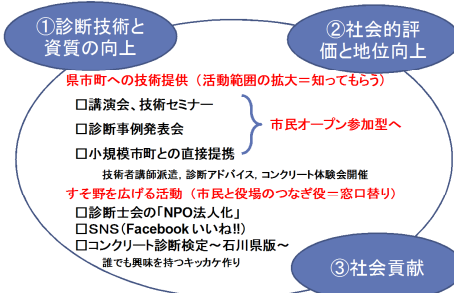
3.見え隠れする課題

- 1) インフラ管理者側
  - ①維持管理技術力不足
  - ②人不足
  - ③予算不足
- 2) 技術者側
  - ①効果的・効率的な点検手法を模索中
  - ②技術者による診断レベルの差
  - ③開発、研究⇔現場⇔管理者の連携ネットワークがない
- 3) 人材育成面
  - ①専門性が高過ぎる (簡易な診断があつて良いのでは?)
  - ②技術士、コンクリート診断士の受験ハードルが高い (費用、受験会場、受験資格)

4.診断士会としての今後の在り方



5.これからの活動内容(案)



なお、同日行われた事例発表会の参加者の方に、石川県診断士会が今後より充実した活動を行うためのアンケートにご協力いただきました。その集計結果は以下の通りです。この他にいただいた貴重なご意見につきましては、今後の活動に参考にさせていただきます。ありがとうございました。

- (1) 石川県診断士会の現状の活動について、どのように思いますか。
- |            |    |
|------------|----|
| 1 よく活動している | 18 |
| 2 概ね活動している | 15 |
| 3 やや物足りない  | 0  |
| 4 活動不足を感じる | 0  |
- (回答数: 33)
- (2) 石川県診断士会の行事内容についてどのように思いますか。
- |               |    |
|---------------|----|
| 1 非常に良い       | 17 |
| 2 普通          | 15 |
| 3 少し改善があってもよい | 0  |
| 4 もっと工夫が必要    | 0  |
- (回答数: 32)
- (3) 診断士会の活動にどのようにかかわりたいと思っていますか。
- |                |    |
|----------------|----|
| 1 積極的に行事に参加したい | 12 |
| 2 時間があれば参加する   | 22 |
| 3 あまり参加したくない   | 0  |
- (回答数: 34)
- (4) 石川県診断士会として、今後どのような事に取り組むべきだとお考えでしょうか？ また、今後開催を希望する行事がありましたら記入してください。
- |                |    |
|----------------|----|
| 1 新しい行事に取り組むべき | 11 |
| 2 現状のままでよい     | 20 |
| 3 行事を減らした方がよい  | 0  |
- (回答数: 31)
- (5) インフラ維持管理に対し、市民はどう思っていると思いますか？ また、市民の関心を高める活動案は何かありますか？
- |             |    |
|-------------|----|
| 1 非常に関心が高い  | 1  |
| 2 ある程度関心がある | 2  |
| 3 関心が薄い     | 20 |
| 4 全く関心がない   | 0  |
- (回答数: 33)
- ・限られた人数、時間、予算の中で新たな挑戦は大変かと思う。  
外部の団体等とも協力して、より良い活動へ向け頑張ってほしい。  
・今後も参加したいと思しますのでよろしく願います。  
・会員の中でも行事に出席しない会員をどう取り込むか  
・官民一体となって横断的に活動する必要がある。

## ◆（報告）第11回コンクリート診断事例発表会

日時：平成30年3月5日（月）13:30～17:00

会場：金沢勤労者プラザ1階101研修室

第1部◇事例発表（4名×各20分）

- 1) 『近接目視のための様々な点検方法』 浅岡 毅 氏/アルスコンサルタンツ(株)
- 2) 『UBE リニューアル商品を用いた海岸構造物の補修事例』 橋村 雅之 氏/宇部興産(株)
- 3) 『橋梁点検での損傷と対策例』 濱田 康行 氏/(株)国土開発センター
- 4) 『ICT 建機によるコンクリート表面はつり工事の省力化』 菊川 雅司 氏/真柄建設(株)

第2部◇実構造物の劣化・変状事例写真を用いた診断ケーススタディー（2事例）

第3部◇特別講演

講師：有馬 直秀 氏（博士(工学)）/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

『塩害劣化した既設道路橋における振動特性の変化に基づいた点検手法に関する研究』

講師：浦 修造 氏（博士(工学)）/(株)国土開発センター

『積雪寒冷地の道路橋におけるコンクリート床版の高耐久化に関する研究開発』



発表会の様子



ケーススタディーの様子（グループ討論）



今回は4名の個人事例発表の後、変状事例写真を用いた診断ケーススタディー（2題）を、参加者全員がグループに分かれて討論と発表を行いました。さらに、お二人の社会人ドクターによる最新の維持管理技術に関する特別講演も行われました。発表者の皆様には、大変お忙しい中、資料作成等にお時間をいただきまして誠にありがとうございました。

## ◆（お知らせ）北陸インフラメンテナンスフォーラム（仮称）第2回設立準備会に参加しました。

平成30年3月14日（水）に北陸地方整備局金沢河川国道事務所にて、「北陸インフラメンテナンスフォーラム（仮称）」の第2回設立準備会があり出席しました。これは「インフラメンテナンス国民会議」の地方フォーラム（北陸ブロック）であり、今回はフォーラムの名称・設立と主旨・目標が合意され、主な活動内容と組織概要が提案されました。

なお、石川県診断士会として、この地方フォーラムへの会員申請をいたしました。

## ◆最新情報・ニュース

### ◇（参加者募集中）フォーラム「これからの維持管理を担う人材をいかに育成するか」

平成30年4月27日（金）13:00～17:00（石川県地場産業振興センター本館2F第1研修室）

主催：JCI中部支部 共催：北陸三県コンクリート診断士会、北陸SIP、インフラメンテナンス国民会議

基調講演「地方の道をいかに守っていくか～ナガサキにおけるインフラ長寿命化の取り組み～」長崎大学 松田浩教授

発表「北陸三県のインフラ管理者から見た維持管理の状況と人材育成」

パネルディスカッション1「北陸三県コンクリート診断士会および教育機関による人材育成の取り組み」

パネルディスカッション2「北陸SIPによる地域実装支援の取り組みから見えてきたコンクリート診断士会への期待」

（編集後記）ICD活動レポートもホームページの更新も、記事ネタが溜まってくると編集が大変です。“Facebook”で石川県診断士会のページも立ち上げていますので、出来ましたら「いいね！」してみてください。

（編集：F, Y）